

お知らせ

7月1日(月)よりJBNホームページが新しくなります

本誌との情報連携、相互の機能補完と強化をはかり、会員向け、関係機関、社会一般への情報の発信をより一層迅速かつ適切に行うことといたします。

ジャパンホームショー 2013 10月23日(水)～25日(金)

ホーム・ビル&インテリアWEEK Japan Home & Building Show 2013 ジャパンホームショー ふるさと建材・家具見本市 スマートハウス・エコハウス展

会場:東京ビッグサイト 東ホール 今年には「第1回スマートハウス・エコハウス展」との合同開催となります。

- JBN展示ゾーン 昨年同様の規模で出展します。
協力会員コーナー(30ブース)の出展募集
JBN全国大会in広島-でも、同様の出展を予定
JBNセミナーでは、「中大規模木造建築」、「省エネ・エコ」、「中古住宅流通」の3テーマを予定しています。

昨年の会場の様子がhttp://www.facebook.com/JHBS.Plazaでご覧になれます。

中大規模木造建築物の施工事例募集

JBNでは住宅、リフォーム、に次ぐ第三の市場として中大規模木造建築物への取組みを強めています。2012年度の研究成果(本誌No.44で紹介)を中心に、全国各地でJBN会員が手がけた事例や技術を集大成し、JBN会員が営業に使えるパンフレットの制作を進めています。

講習会・セミナー・見学会

JBN認定品質住宅検査員講習会(JIO・住宅保証機構・ハウスプラス)

JBNは、瑕疵保険法人各社から認定団体として認定され、瑕疵保険料金の割引など有利な条件が適用されるJBN認定品質住宅制度があります。この制度を利用するには、各社ごとに検査員(JBNインスペクター)講習会を受講する必要があります。

Table with 2 columns: 日程, 会場. Includes dates from 7/24 to 8/9 and locations like 仙台, 東京, 名古屋, 大阪, 香川, 福岡.

「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」講習会

先月号では、4月～6月(予定)のご案内でしたが、「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」に低炭素住宅認定制度に関する追記改訂が行われており、開催は7月以降になる予定です。

建築行政情報センター(ICBA)の情報サービス

JBN会員はICBA情報会員サービス(建築基準法令データベースの閲覧、確認申請書作成プログラムの作成・サポートなど)を割引価格で利用できます。詳しくは、http://www.icba.or.jp/

発行/お問い合わせ 一般社団法人 JBNサポートセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階 TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679 E-mail:jbn@jbn-support.jp



刊行物のご案内

新しい刊行物

●「木造建築士資格研修テキスト」2013年度版配本 「地域型住宅ブランド化」の信頼できる担い手に木造建築士 2013年度の資格試験にあわせて改定増補しました。

●「性能向上リフォームで生まれ変わる家」 消費者向けのパンフレットが出来ました。先に刊行された「既存住宅の性能向上リフォーム-耐震・断熱で生まれ変わる家」から、消費者向けに性能向上リフォームをすすめる上でのポイントと施工事例を判りやすく、順序だてて説明しています。

●「既存住宅の性能向上リフォーム-耐震・断熱で生まれ変わる家」 旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭しに関する機構承認仕様を追加しました。

●「木造軸組工法による省令準耐火構造の住宅(第2版)」 旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭しに関する機構承認仕様を追加しました。

●「工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改定しました。」

●「長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)」

●「木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル」

●「JBN長期優良住宅(申請マニュアル)」

●「住宅改修の工事記録写真-撮影・保管の実務」

●「バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針事例集」

●「地域工務店のための「耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」～木造らしさを生かした耐火性能の高い家づくり～」

●「長期ちきゆう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定」

●「同上・「手刻みの基本(構造編)」」

●「採用 正規職員(建築系技術職)」

業務内容:サポートセンター(技術・研修・工務店支援)業務 給与:規程による。建築士資格保有者、木造住宅、工務店経験者優遇 年齢:30歳まで 勤務時間:9:00～18:00(月～金) 連絡先:事務局 坂口 ※職務経歴書及び履歴書を郵送またはメールにて送付

JBN 会員登録募集 全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。地域から必要とされ、信頼される工務店のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

●「既存住宅の性能向上リフォーム-耐震・断熱で生まれ変わる家」

●「木造軸組工法による省令準耐火構造の住宅(第2版)」

●「工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改定しました。」

●「長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)」

●「木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル」

●「JBN長期優良住宅(申請マニュアル)」

●「住宅改修の工事記録写真-撮影・保管の実務」

●「バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針事例集」

●「地域工務店のための「耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」～木造らしさを生かした耐火性能の高い家づくり～」

●「長期ちきゆう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定」

●「同上・「手刻みの基本(構造編)」」

●「採用 正規職員(建築系技術職)」

業務内容:サポートセンター(技術・研修・工務店支援)業務 給与:規程による。建築士資格保有者、木造住宅、工務店経験者優遇 年齢:30歳まで 勤務時間:9:00～18:00(月～金) 連絡先:事務局 坂口 ※職務経歴書及び履歴書を郵送またはメールにて送付

JBN 会員登録募集 全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。地域から必要とされ、信頼される工務店のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮節記(ぼやき)

「ふだんは表面に出ないがいざというときに出てくる強い力」、「底にひそんでいて、いざという時に発揮する強い力、能力」と辞書にはある。地力、実力、蓄積した力、真価、真骨頂、本領ともいう。英語では、Underlying strength, True potential, Real abilityなど。そんな「ソコデカラ」について書いて下さい、という依頼がそもそも無理があったと反省している。いざという時が、そんなに度々あるわけではないし、密かに意図的に蓄えるという性格のものではない。自分では気がつかないし、書けないことも少なくない苦、という会長の指摘もあって、今回から取材によることにした。話を聞いたり、現場を見たりしているうちに、見えてくるものをできるだけ適確にとらえ、お伝えするという役回りだが、その糸口は「きにかけていました」。雑談力のキーワードだそうだ。内容は「検索」で。(F)

JBN サポートセンターレポート Japan Builders Network

JBN会員数 会員登録更新期間のためしばらく掲載を中断します。 「いえもり・かるて」登録累計数/4,908件 (2013年6月末日現在)

- JBN第6期定期時総会開催報告、総会記念講演、総会懇親会、連携団体事務局長会議
活動報告 役員会・青木会長の動き、委員会・WG報告等
地域工務店のソコデカラ、第5期事業報告概要、第1回大工エキスパートJBNマスターズ開催概要
お知らせ 講習会開催日程・主な刊行物

JBN第6期定期時総会 開催報告

6月11日(火)15:00より、東京青海 タイム24ビルにおいて第6期定期時総会が、役員、社員、連携団体代表による総議決権数109名のうち、本人出席62名、委任状出席44名、計106名の出席により開催されました。

開会にあたって、青木会長があいさつに立ち、「工務店による工務店のための全国組織が日本でも必要だと40年来思い続けてきた。そのモデルはアメリカのNAHBだが、JBNはそんな組織になりつつある。会員数だけではなく活動そのものが国や関係団体をはじめ社会から唯一の業界組織として認められるようになった。結成から6年目となるが、名実ともにそれに相応しい総会としたい」と述べました。

決議事項 第1号議案 第5期事業報告の件 第2号議案 第5期収支決算の件

報告事項 1.第6期事業計画の件 2.第6期収支計画の件
なお、第1号および第2号議案書について、近く更新される新しいホームページで公開する予定しておりますが、そのうちの概要のみ本誌3面に掲載しました。

総会記念講演 総会の後、住宅および林野の担当行政官を招き、国の施策について、講じていただきました。

懇親会 会場を同ビル11F「レストラン・シーガル」に移し、17:30より懇親会を開催しました。140名を超える盛況な会となり、お招きした来賓、協力会員と和やかなうちに交流を深めました。

第6期第1回JBN連携団体事務局長会議を開催 翌6月12日(水)9:30～16:00、アットビジネスセンター(八丁堀)604号室で開催されました。

第1部(9:30～12:00) 1)「全国組織JBNは何をすべきか」 JBN 青木会長 2)「JBN全国大会参加呼びかけ」 JBN 和田常任理事

3)「サポートセンターの役割と活動」 JBN サポートセンター 藤澤センター長 4)「地域型住宅ブランド化事業の取組」富士山木造住宅協会 遠藤事務局長

第2部(13:00～14:20) 1)住宅瑕疵担保責任保険(JBN認定品質住宅)について JIO・住宅あんしん保証・ハウスプラス・住宅保証機構の4保険法人

第3部(14:30～16:00) 1)JBN事務局長会議及び地域ブロック会議の開催について JBN事務局長会議を年3回(2月・6月・10月)、ブロック会議を年2回(1月・9月)の開催とすることとした。

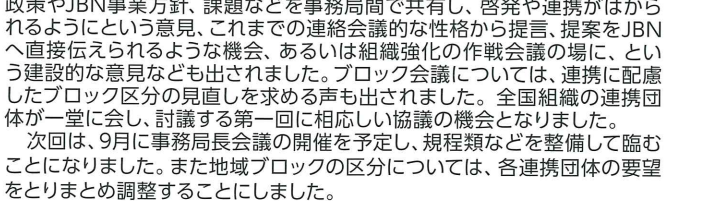
2)JBN及び連携団体主催の講習会料金統一化について JBN主催は、受講料1名1万円とする。なお、当面の検査員講習会は、住宅保証機構/JIO/ハウスプラスの3団体と合同で開催する。

3)JBN本部と連携団体との事業運営等ありかたについて 講習会の開催、運営などにあたっては、受講者への周知、参加者確保など連絡・連携をはかる。

以上、それぞれについて活発な質疑応答・意見交換が行われました。とくに、JBN(都道府県名)については、JBN本部との関係、会長の選出と任命、連携団体との関係、全国木造住宅生産体制推進協議会との関係などについて、多くの質疑・意見が交わられ、全国組織としての体制固めに向けて説明の機会、規程類の整備が求められました。

また、ブロック会議、事務局長会議の位置づけ、開催時期などでは、国の政策やJBN事業方針、課題などを事務局間で共有し、啓発や連携がはかれるようにという意見、これまでの連絡会議的な性格から提言、提案をJBNへ直接伝えられるような機会、あるいは組織強化の作戦会議の場に、という建設的な意見なども出されました。

今回は、9月に事務局長会議の開催を予定し、規程類などを整備して臨むことになりました。また地域ブロックの区分については、各連携団体の要望をとりまとめ調整することにしました。



定時総会で挨拶する JBN青木会長 総会懇親会で乾杯の挨拶をする林野庁坂田室長 事務局長会議で説明する青木会長

JBN全国大会in広島 2013/設立5周年記念大会 11月13日(水)～15日(金)

会場:グランドプリンスホテル広島 主催:一般社団法人JBN 一般社団法人広島県工務店協会

13日(水)13:00～17:00 14日(木)8:00～11:30 第1回 大工エキスパートJBNマスターズ 若年大工の育成・定着に向けたJBNならではの技能競技大会

13:00～17:00 第5回 JBN全国大会テーマ 「地域工務店の新たな市場展開」

○式典 ○基調講演「地域と住まいと工務店(仮)」 18:30～20:30 ○懇親会

15日(金)9:00～12:00 ○分科会(詳しくは右欄) 午後～ ○エクスカーション 宮島・錦帯橋ほか 日帰りコース/1泊コース

参加費:大会(式典・基調講演・分科会)＋懇親会 1名15,000円 大会(式典・基調講演・分科会)のみ(懇親会のみ1名10,000円)

宿泊:会場グランドプリンスホテル広島HPIに JBN会員専用宿泊コーナーを開設予定 エクスカーション参加費:別料金

分科会テーマ「5つの新たな市場展開」の概要

5会場に分かれ、各テーマごとにゲスト・コメンテーターによる基調提言と関係者による討論を予定しています。

①「地域(広島)型木造住宅のブランド化」 ゲストコメンテーター:安藤直人氏(東大) 担当:国産材委員会・次世代の会(広島) / 協力:日刊木材新聞社

②「既存改修」 ゲストコメンテーター:今井信博氏(現代計画研究所) 担当:既存改修委員会 / 協力:日本住宅新聞社

③「環境・省エネ問題」 ゲストコメンテーター:人選中 担当:環境委員会 / 協力:創樹社

④「中古住宅流通」 ゲストコメンテーター:安達功氏(日経BP社) 担当:中古住宅流通WG / 協力:日経ホームビルダー

⑤「中大規模木造建築」 ゲストコメンテーター:腰原幹雄氏(東大) 担当:大規模木造委員会 / 協力:新建ハウジング

地域を活かし、地域を支える工務店の全国組織・JBNは、一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに新たに発足した全国木造住宅生産体制協議会ならびに都道府県木造住宅生産体制協議会などの関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援と地域活性化に努めてまいります。

活動報告

前月号以降の活動

○第1306回 常任理事会 6月11日(火) 11:00~13:00
役員3名、常任理事4名、監事1名、事務局2名
開催場所:タイム24ビル 会議室C

【あいさつ】

●青木会長
今日は常任理事会規程による最初の常任理事会になる。規程に沿って、議題の処理も積み残しがないようしっかりすすめていきたい。このあと、第6期提定時総会が開催されるが、定款や規程に基づいた全国組織JBNにふさわしい進行で、無事に終ることを願っている。設立から5年、最高議決機関らしい、しっかりとした総会を開催したいと、この1ヵ月近く、頭を痛め、準備をしてきた。皆さんのご協力をお願いしたい。

●藤澤センター長
会長が今回の総会開催に向けて、頭を悩ませ、気を配り、いろいろと努力されてきたのを脳でみてきた。JBNが業界全国組織であるという自覚、そのJBNが何を目的に行動すべきか、会長の思いがしっかりと伝えられ、支持される総会であってほしい。それにともないサポートセンターの役割もおのずと決まってくる。そういう意味でも、今日の総会も、全参会者が組織の活動、方針を納得、共有できる総会であってほしいと思う。

【主な議題】

- 1) JBN協会員加入の件
申請のあった2社(うちメディア会員1社)を承認した。
- 2) 技術系職員採用の件
正規職員1名の公募、採用を承認した。
- 3) 議員候補者推薦の件
政党からの申し入れに配慮することを申し合わせた。
- 4) HPなど情報発信の一元化の件
センターレポートをはじめ情報の連携、一元化の方針を承認した。
- 5) 旅費規定の件
前回からの一部持ち越し事項を確認、承認した。
- 6) JBN工務店憲章(案)の件
唱和しやすした(案)を承認した。(右・下欄に関連記事)
- 7) 職員給与改定および契約社員の契約更新の件
給与表と対象者について、承認した。
- 8) 委員会の設置・運営に関する規定(案)の件
(案)の一部を修正し、承認することとした。

【主な報告】

- 1) センターレポート(No.47) 関連、JBN委員会・WG報告
- 2) 会員実数、住宅履歴登録数等
会員更新期のため会員数確定数公表は6月末時点とする。
- 3) 5月末の財務諸表について
- 4) ICBA情報会員制度への参加について(右欄に関連記事)
- 5) 全国大会・大工エキスパートJBNマスターズ大会概要(案)について
(3面に関連記事)

次回常任理事会+理事会 2013年7月9日(火) 14:00~

青木会長の動き

青木会長の動き2013年5月20日~6月14日
(前月第3週初~当月第2週末)

5月

- 20日(月) 広島全国大会実行委員会、木材利用ポイント林野庁説明会、メディア懇談会
- 21日(火) 神奈川県庁災害協定協議-神奈川県木造住宅協会 山田会長・全国建設労働組合総連合 内藤書記長
- 22日(水) 福井県家づくりの会総会
- 23日(木) 岩手県中小建築業協会総会
- 24日(金)~26日(日)
朝日すまいづくりフェア・セミナーで講演、JBN出展ブースで待機
- 27日(月) 木を活かす建築推進協議会理事会・総会
- 28日(火) ちば木造建築ネットワーク設立総会で講演
- 30日(木) 日本住宅・木材技術センター 松川専務来所、履歴協議会(BL)来所、移住・住みかえ支援機構 大垣代表協議

6月

- 1日(土)~2日(日)
日本木材青年団体連合会全国大会(盛岡)来賓で出席
- 3日(月)
環境省家庭工コ診断採択キックオフミーティング・環境副大臣
- 4日(火)
総会に向けセンター長・事務局長・部長と打合せ
- 5日(水)
ハウスプラス 吉田社長来所、日本建築士事務所協会連合会・三栖会長ほか幹部が来所協議
- 11日(火)
常任理事会、大工不足状況のヒアリング、広島全国大会打合せ、総会、懇親会
- 12日(水)
連携団体事務局長会議、BL監視委員会
- 13日(木)
神奈川県木造住宅協会総会
- 14日(金)
住宅履歴協議会理事会総会、建築研究コンソーシアム総会

委員会・WG報告

●活動報告 ○活動予定

次世代の会

- 第1303回 6月19日(水) 長野県 榊小林創建視察研修
参加者:25名
1.小林社長の案内でモデルハウス視察
2.小林社長が語る工務店経営・複数ブランド戦略
3.次世代ディスカッション

大型木造研究委員会

- 新年度準備会 6月13日(木) 10:00~12:00
会場:東大 腰原研究室 参加者:7名
・事業、予算計画について

○次回開催は7月上旬予定

既存改修委員会

- WG設置準備会 6月18日(火) 16:00~18:00 参加者:4名

○次回開催日は未定

マーケット委員会

- 第1302回 6月11日(火) 13:30~14:30
会場:タイム24ビル 会議室 参加者:4名
議題:新建ハウジング出版冊子について意見交換

○第1303回 7月17日(水)

国産材委員会

- 正副委員長会議 6月21日(金) 12:00~13:30

- 会場:TKP東京駅前カンファレンスセンター 参加者:6名
- 1. 第2回研修会の実施要領を決定
7月17日(水) 13:00~17:00 広島市南区 ホテルセンチュリー21広島
広島県林業振興部長 木下仁氏、及び学識経験者による講演と議論-JBN
広島大会のプレイベントとして実施
- 2. 第3回以降の研修会の内容、講師案について協議

- 第一回研修会 6月21日(金) 13:30~16:00

会場:TKP東京駅前カンファレンスセンター 参加者:33名
「樹を知り、木を活かす」民族・行政から最先端の研究まで」
京都府立大学大学院生命環境科学研究所 古田裕三准教授の講演

環境委員会

- 第1301回 5月29日(水) 14:00~18:00

- 会場:東京八重洲ホール 参加者:63名
- 1.各種省エネ系補助事業情報交換
- 2.2013年度環境省家庭工コ診断事業の参加説明
- 3.2020年省エネ基準義務化の次を見据えた高断熱技術の動向
HEAT20と活動など、鈴木大陸、砂川雅彦の両先生の説明と討議

○第1302回 7月31日(水)

中古住宅流通WG

- 第1303回 6月20日(木) 参加者:9名

滋賀県野洲市 榊匠工房視察
「新築住宅、リフォーム、不動産の三位一体化経営」の研究

大工育成WG準備会

- 準備会 5月31日(金) 10:30~12:00

- 会場:JBN会議室 参加者:5名
- ・若年大工の雇用・育成動向調査の報告
- ・第一回大工エキスパートJBNマスターズの大会概況・規程の方針確定

- 不足状況ヒアリング 6月11日(火) 13:00~14:50

会場:タイム24ビル 会議室 参加者:7名+国交省3名
・各社の現場での技能者確保の方策、育成の状況、課題などを説明

委員会活動について

委員会の活動目的、成果目標をより明確にし、より効率的、効果的な体制、運営とするべく、見直しを進めております。これまでの活動の成果も踏まえながら、段階的に新しい体制へ移行することになります。(F)

JBN工務店憲章を、唱和しやすくなりました。

- 一.(私たちは)日本の木で、日本の技(わざ)で、日本の家を造ります。
- 二.(私たちは)環境に気を配り、負荷をかけない住まいを造ります。
- 三.(私たちは)長く住み継がれ、資産となる住まいを造ります。
- 四.(私たちは)地域の住まいと生活を、しっかりと守り、支えます。
- 五.(私たちは)技術、技能に優れた人材を育て、活躍できる業界を目指します。
- 六.(私たちは)次世代が自信と誇りを持ち、地域から信頼される業界を目指します。
- 七.(私たちは)安心・安全で、豊かな住生活のため、政策を支え、働きかけを行います。

ICBA(一般社団法人建築行政情報センター)情報会員制度について

ICBAでは、建築確認申請者の確認申請業務円滑化のため、申請時に必要な法令や告示、行政窓口情報などを提供、また、行政窓口の確認申請受付・審査業務の円滑化のため、建築確認支援システムに関する情報も提供している。
JBN会員は団体会員として、情報会員(割引料金)として、情報サービスを利用出来る。詳しくは、http://www.icba.or.jp/

訂正 前(No.47)号、第1305役員会 4月16日(火)は5月14日(火)の誤りでした。お詫びして訂正します。

JBN(都道府県)の活動

地域工務店のソコデカラ 第7回

JBN宮崎県 新町吉男会長に聞く 大工力を活かしたい

宮崎県建築業協会を率いる新町会長の悩みは複雑だ。その一つは協会員数の減少に歯止めがかからないこと。廃業による脱退が主な要因だが、これには後期高齢者医療制度による会員資格の喪失も含まれる。1976年の発足時は、約700名を数えたが、現在は1/3の220名にまで落ち込んでいる。個人資格の建設国保加入がこの組織の求心力ではあったが、住まいづくり業界団体として、建築住宅行政と連携し、地域に貢献してきた。昨年2月には、全国では3番目、九州では最初の「災害時における応急仮設住宅建設の供給に関する協定」調印を県と締結している。林産県として県産材を利用した仮設住宅が建設できる団体として寄せられている期待も大きい。

もう一つの悩みは、約3割が工務店、残りが大工をはじめとする専門職で構成されている組織の向かうべき方向と足並みをどうしたら揃えられるかだ。昨年から地域型住宅ブランド化事業でJBN会員の入会増はあったが、全連連から離脱し、JBN連携団体として加盟したものJBN会員数は全体の1/3に満たない。大半を占める大工職、専門職とのネットワーク、連携をはかり、JBNの活動の一翼を担い、参加することでメリットが得られ、仲間としての結束を強める手立てはないものか、と集会所や幹部との寄り合いごとに話題にしてきた。

これまでもっとも力を入れてきたのが住宅相談事業で、とりわけ介護保険が導入されてから高齢者の増改築について計画・見積りもりのチェックや苦情

の相談で奉仕活動を行ってきた。この活動とあわせて親子木工教室を市内の小学校やコミュニティセンターで開催してきた実績は、10年以上になる。近年は年間10か所にもおよび、応じきれないほどの申込みがある。毎回10名を超える大工がボランティアで指導し、協会では材料費等を負担してきたこともあって、地域への貢献度も、知名度も高まっている。大工青年部の協力も積極的で、頼りになる次世代の存在をアピールする機会にもなっている。

これらの活動実績をもとに、大工をはじめとする専門職のパワーを結集し、活力のある組織としての道のりを模索している新町会長だが、その信条は、「誠実」、「まっすぐ」、仲間からの人望も篤い。

宮崎でも高齢化社会は進む一方だが、高齢者の住まいと住生活の質を高めるリフォーム需要への対応が求められている。ケースワーカー、ケアマネジャー、デイサービス施設関係者などとの交流、連携をはかり、大工の能力を活かせるリフォームの取組み、そして県産材を利用した仮設住宅の建設の仕組み、この両面作戦でこの組織を活力のあるものにした、穏やかな話ぶりのなかに強い意志が伝わってきた。(F)



市民との交流に実績を重ねる「ふれあい木工教室」

今回から、取材記事に切り替えました。

第5期 事業報告概要 (2013年6月11日)

2012年8月1日から2013年3月31日まで

1.一般事項 (1)組織 ○会員の状況

会員種別	8月1日	3月31日	増減
正会員	2,307	2,400	93
社員会員	43	45	2
連携団体	41	65	24
協会員	84	112	28
支援団体会員	5	6	1

○JBN(都道府県)設立の状況 北海道・山形県・福島県・茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・長野県・愛知県・岐阜県・三重県・広島県・山口県・徳島県・高知県・福岡県・大分県・宮崎県 計21都道府県

(2)定期開催会議

- 第4期 定時社員総会 2012年10月16日(火)
- 理事会第1301回 理事会 2012年10月16日(火)
- 第1302回 理事会 2012年12月11日(火)
- 第1303回 理事会 2013年 3月12日(火)

以上 審議事項略

○役員会 第1209回~第1303回(報告事項)および(審議事項)略

○JBN全国大会 2012年11月15日(木) (於)東京コンファレンスセンター/テーマ[全国組織JBNのさらなる進展に向けて]

2.事業 会員支援(サポート)事業

長期優良住宅普及事業(講習会) 22回684名/リフォーム支援事業(講習会) 8回298名/JBN認定品質住宅(瑕疵担保責任保険法人適用)事業 2回14名/JBN仕様認定事業 13回306名/保険事業:(地盤調査)460件/(住宅瑕疵担保責任保険)住宅あんしん保証29件、JIO1,913件、住宅保証機構419件/ハウスプラス住宅保証2件/(工事保険)30件/(火災保険)省令準耐火JBN仕様適用115件/資格・研修(人材育成)事業/JBNインスペクター(検査員資格) 545名/大工育成研修 新人部門(新潟・東京)リリーダ部門(新潟・東京) 各2回35名/国産材委員会主催セミナー(東京・大阪) 4回 196名

○住宅履歴管理サービス(いえもり・かるて)事業

登録数	8月1日	3月31日	増減
いえもり・かるて	4,026	4,637	611
うち長期優良住宅	48	109	61

○情報提供事業 ①定期刊行(毎月末)「サポートセンターレポート」(刊行) 3,500部 ②定期発送(毎月初)セミナー・講習会案内、関連資料等 ③ホームページによる情報発信 ④緊急、重要情報 一斉FAX送信
○事業成果物などの刊行事業16件 内容省略(本誌にて紹介)

3.補助事業

- 国土交通省「木造住宅等の施工能力向上・継承事業」既存住宅の長期優良住宅化を見据えた性能向上リフォームへの取組み/現代規格術による次世代大工育成システムの構築/木造住宅の構造計画の実施と地域の支援体制の構築とリリーダの育成
- 林野庁「地域材供給倍増事業」中大規模木造建物等の普及促進のための構造部材の開発
- 環境省「家庭工コ診断推進基盤整備事業」に係る民間企業等試行実施事業

4.委員会活動

次世代の会/国産材委員会/既存改修委員会/環境委員会/大型木造研究委員会/マーケット委員会

5.関連機関との連携事業

- (1)一般社団法人全国木造建設業協会
- (2)全国木造住宅生産体制推進協議会

第5期 貸借対照表 (税込)

平成25年3月31日現在

科目	金額(円)
現金及び預金	61,264,078
未収金	94,765,384
その他の流動資産	1,080,778
流動資産計	157,110,240
建物	1,097,789
その他の固定資産	8,384,136
固定資産計	9,481,925
資産合計	166,592,165
未払金	82,832,860
預り金	23,225,469
未払い法人税等	9,595,600
その他の流動負債	11,223,269
流動負債計	126,877,198
固定負債計	2,248,000
負債合計	129,125,198
正味財産合計	37,466,967
負債及び正味財産合計	166,592,165

第5期 正味財産増減計算書 (税込)

平成24年8月1日から平成25年3月31日まで

科目	金額(円)
(1)経常収益	
受取入会金	300,000
受取会費	31,276,000
事業収益	51,893,354
受取補助金等	104,200,000
雑収益	4,763,857
経常収益計	192,433,211
(2)経常費用	
事業費	132,639,737
管理費	30,305,193
経常費用計	162,944,930
(3)当期経常増減額	29,488,281
(4)税引前正味財産増減額	29,488,281
法人税、住民税及び事業税	9,597,938
(5)当期正味財産増減額	19,890,343
正味財産期首残高	17,576,624
(6)正味財産期末残高	37,466,967

第1回 大工エキスパート JBNマスターズ 大会概要

- 1.開催目的 JBNが信条とする日本の木で、日本の技で、日本の家づくりを支える大工エキスパートが優れた技能と技術を磨き、競いあうことを通じて、これからの地域工務店の重要なスタッフとして、その育成と活躍を促すことを目的とする。あわせて、業界全国組織として「ものづくり」は「ひとづくり」に取り組んでいることを社会全般に対し、広くアピールする機会とする。

- 2.主催 一般社団法人JBN/一般社団法人広島県工務店協会
- 3.後援(依頼予定) 国土交通省、厚生労働省、広島県、中央職業能力開発協会、広島県職業能力開発協会、一般社団法人全国技能士会連合会、建築士会連合会
- 4.日程 11月13日(水) 11時 受付準備

- 13時 開会式説明・競技実施(4.5時間)
- 14日(木) 8時 競技実施(3.5時間)
- 12時 審査
- 14時 成績発表と表彰(大会)

- 5.競技会場 グランドプリンスホテル広島(一般公開)。競技会場は一般にも公開し、JBN工務店が雇用している大工技能の水準も含め、彼らの働き(技)によってつづられている木造住宅のレベル(納まり、仕上げの質など)を写真、動画などを用いてアピールする。

6.選手参加資格

- ・新人部門…JBN工務店事業者が自社の住みづくりで「木と技を活かせる」内部人材として雇用し、将来を期待する社員大工で、その能力を証明する公的資格である大工(一級)技能士資格取得を目指す10~20歳代の方
- ・リーダ部門…JBN工務店事業者が自社の住みづくりで「木と技を活かして」優れた社員大工として雇用し、その能力を証明する公的資格である大工(一級)技能士資格を保有し、後進の指導を託せる方
- ・一社からの参加は各部門1名とし、両部門とも、事業主による推薦の理由と社員としての雇用証明書の提出を条件とする。

7.競技課題

- ・新人部門…[脚立(建築大工二級技能士課題に準拠)] プラス・ワン*
- ・リーダ部門…[小屋隅木(建築大工一級技能士課題に準拠)] プラス・アルファ**

*プラス・ワン=応用力(部材・継手・仕口・形状等のうち一つを組み換える)

**プラス・アルファ=創出力(部材・継手・仕口・形状等を追加、組み換える)

8.課題の公示 7月1日(月)からホームページ「建築大工技能検定課題説明」その他詳細もホームページで開示する。

9.選手参加者のエントリー

受付期間:7月16日(火)~8月23日(金)
応募様式:JBNホームページからダウンロード
応募者多数の場合は、JBN・大工育成WGを開催し、選考審査を行い、各部門の参加選手30名を決定し、連絡します。

10.参加選手対象者への事前研修(1泊2日、交流会)

詳細はJBNホームページ
○新人部門…30名 8月30日(金)・31日(土) 於 新潟県燕市
○リーダ部門…30名 9月2日(月)・3日(火) 於 新潟県燕市
参加選手の事前研修および大会参加費用の助成(宿泊・交通費の一部を助成)

11.表彰 第1位から第3位までの者、優れた成績を収めた者に対して、主催者賞(賞状及び副賞)を授与する。合わせてその事業主に対しても、顕彰を行う。